

## 《チャイルドラインデータ資料》

## 2025年度・第2四半期

## 【集計データから、子どもたちの状況を読み解く】

特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

## ▶ 1・今期のテーマ「前向きな話・楽しい話」◀

## ▶ 2・2025年7月～9月のアクセス内容と分析◀

## 《第2四半期のテーマ「前向きな話・楽しい話」》

今回は「前向きな話・楽しい話」について調べました。

チャイルドラインにアクセスする内容において、通常はいじめや不登校、虐待、性の話題などを取り上げることが多くありますが、今回は視点を変えて「悩み」とは反対の「前向きな話・楽しい話」に焦点を当てたいと思います。

具体的には「気持ち」としてデータベースに集計しているうちの、「うれしい・たのしい」「幸せ」「楽しみ・期待」「満足・充実感」の4つの項目を「前向きな話・楽しい話」とまとめた上で、さまざまな角度から分析を行ないました。下記に記しているように、「前向きな話・楽しい話」は電話で7%程度、オンラインチャットでは2%程度と少数ではありますが、子どもたちの状況を知るための貴重な一側面であることに変わりありません。「第三者のつながる先・相談先」になぜ前向きな話を彼らは提供してくれているのか。その辺りについても、深掘りできればと思います。ここでは、基本的に2016年度～2024年度までの過去9年間の傾向をみています。

## ◆ 「前向きな話・楽しい話」の年度別件数と割合

2016年度から2024年度までの前向きな話・楽しい話（以下・一部「前向きな話」と表記）の件数集計です。

電話は4,923～2,507件で減少傾向で、オンラインチャット（以下・チャット）は23件～237件で増加傾向でした。全体的にみても電話は減少傾向、チャットは増加傾向であることを考えると、おおむね比例しています。

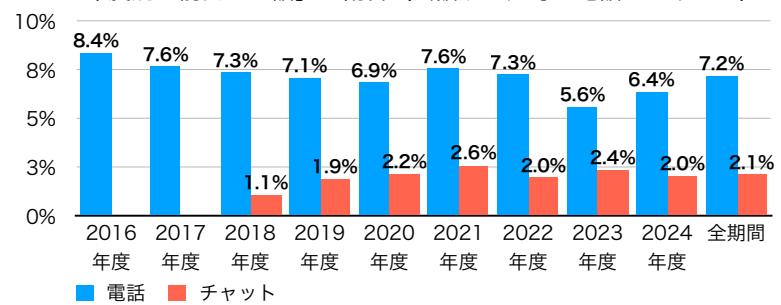
割合は、電話は緩やかに減少傾向、チャットは2021年がやや多いですがその後、横ばいです。全体の特徴としては「電話」の方が、前向きな話・楽しい話が多いようです。

年度別「前向きな話」の着信件数（年度・電話とチャット）

種類	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	期間合計
電話	4,923	4,204	3,865	3,566	2,876	3,146	3,120	2,160	2,507	30,367
チャット	-	-	23	56	99	142	153	230	237	940

※電話は、2023年度から「ネット電話」の件数も含まれる  
※チャットは、常設化した2018年度から集計

年度別「前向きな話」の割合（会話成立分母・電話とチャット）



## ◆ 「前向きな話・楽しい話」とは？（定義）

今回取り上げる「前向きな話・楽しい話」は、そもそも「データベース」の既存項目にはありません。また年次報告等でも紹介してこなかったテーマなので、今回、改めて定義を行いました。

採用したデータは「気持ち」の項目です。既存の23項目を「ポジティブ・前向き」「中立だが迷い・（気持ちの）揺れがある項目」「ネガティブ・後ろ向きな項目」「その他・不明」と4つのグループに分類して集計しました。

今回のテーマにあたるのは「ポジティブ・前向き」という分類で、これを今回は「前向きな話・楽しい話」としました。内訳は「うれしい・たのしい／幸せ／楽しみ・期待／満足・充実感」の4項目です。「中立だが迷い・揺れがある」は6項目、「ネガティブ・後ろ向き項目」は11項目、「その他・不明」は2項目です。

具体的な割合では「電話・チャット」とともに「ネガティブ・後ろ向きな項目」が最も多く53%・70%となり、「中立だが迷い・（気持ちの）揺れがある項目」が27%・22%でした。

各グループは項目数の違いがあるため割合に偏りが生じることは否めませんが、今回は「前向きな話・楽しい話」の抽出が目的なので、これについての詳細分析は控えます。

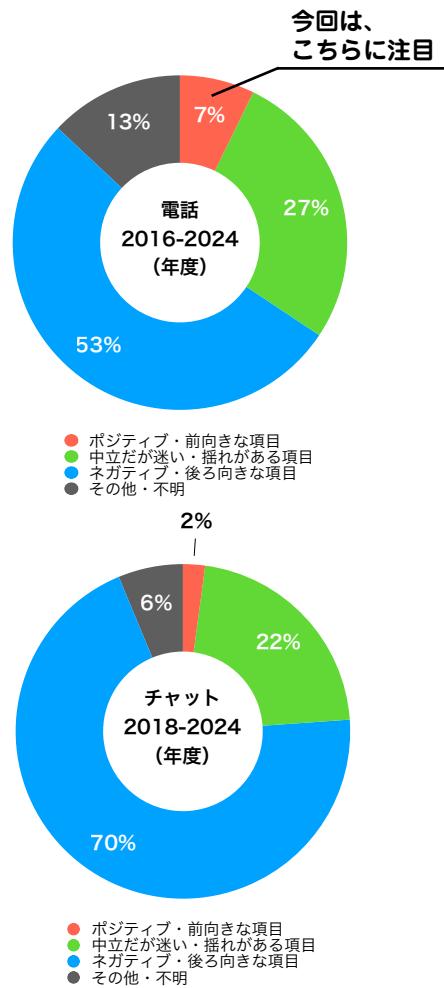
今回取り上げる「前向きな話・楽しい話（ポジティブ・前向きな項目）」は電話で7%、チャットで2%となっています。

電話とチャットでやや割合は変わるもの、割合の多い順番は同じです。「チャット」はネガティブ・後ろ向きな項目が多く、またポジティブ・前向きな項目が少ない傾向ですが、「電話」は、中立だが迷い・揺れがある項目と、ポジティブ・前向きな項目がチャットに比べてやや多くなっています。

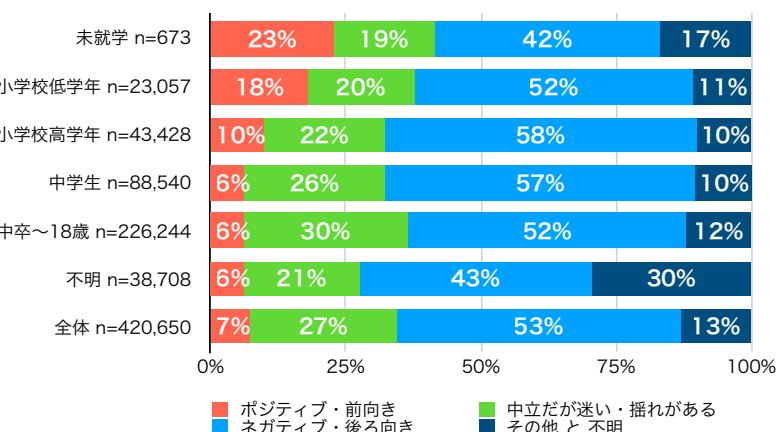
割合の違いをさらに年齢層でみてみると、やや特徴が見られました。

未就学や小学校低学年、小学校高学年に「前向きな話・楽しい話（ポジティブ・前向きな項目）」が多く、年齢が上がると割合が少なくなっています。また中卒～18歳については、「中立だが迷い・揺れがある」が30%と他の年齢より多くなっていました。ただ、この大きな違いは「電話」のみで、「チャット」に関しては、電話ほど年齢による大きな違いはありませんでした。

この電話／チャットの違いについては、広報の展開に関係している場合や、子どものネット・スマホの所持や利用実態、会話か文字でのコミュニケーション手段の違いなどのいくつかの視点で分析が必要です。考えられるのは、低学年ほどスマホやインターネットに触れる割合が下がり「声での会話」としての電話の方がコミュニケーションハードルが低いこと、加えて最近までは電話しかコミュニケーション手段がないこと、そして「悩み」ではなく日常的な出来事や雑談を求めていることが考えられます。



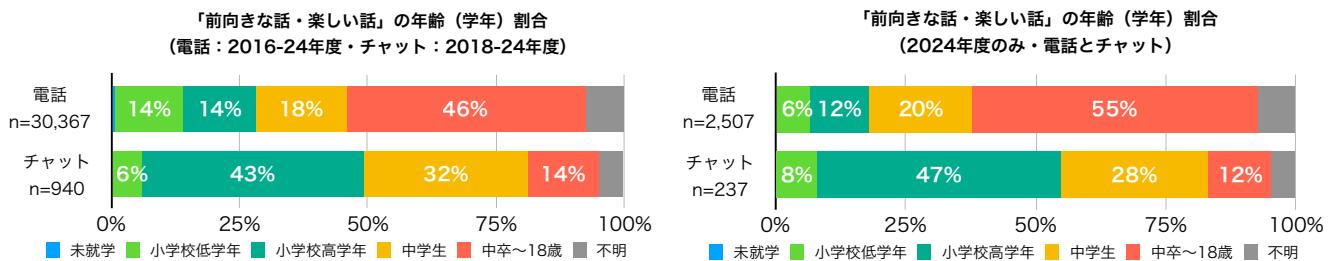
年齢（学年）別感情項目グループの割合  
(2016～24年度・電話)



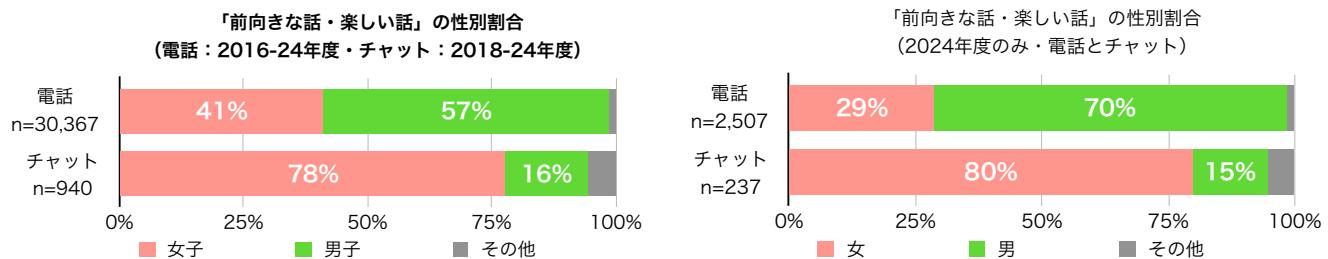
## ◆基本的な情報の電話・チャット比較

属性などの基本的な情報について、電話とチャットを比較しました。

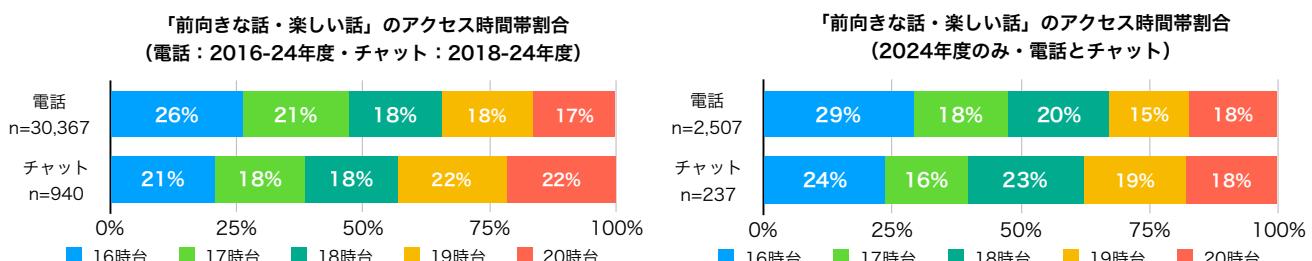
- 年齢** 2016-2024年度合計の電話は、中卒～18歳（＝高校年齢）の割合が高い傾向ですが、チャットでは小学校高学年と中学生が多く、大きな違いがあります。2024年度に限っても（右棒グラフ）、似た傾向となりました。



- 性別** 2016-2024年度の電話は、男子の割合がやや高い傾向ですが、チャットでは女性割合が高くなっています。2024年度に限ると電話はより男子割合が高くなっています。チャットは概ね似た傾向でした。



- 時間帯** 電話、チャットともに似た割合となりました。電話は16時台の割合が高く、チャットは比較的均等です。2024年度に限っても似た傾向です。



※16時台～21時台以外の時間帯もキャンペーン等で実施していますが、ここでは基本的な開設時間のみで集計しています。

- 平均通話時間** 電話は約14分半に対し、チャットは約31分と開きがありました。そもそも全体でも電話とチャットは開きがあるので、それと共にあります。また、2024年度に限ってもおおむね似た傾向となりました。



・月別件数と割合・月別 「前向きな話・楽しい話」の電話は「件数は多いが割合は少ない」、チャットは「件数も割合も少ない」、というのが特徴です。

月別割合（赤の折線）では、電話は波がおだやかでやや4月～7月、9月～11月、1月～3月にかけてやや上昇傾向で、件数でもやや似た傾向を示していました。チャットは大きな変化は見られませんでしたが、件数については10月～1月にかけてやや増えていくようです。

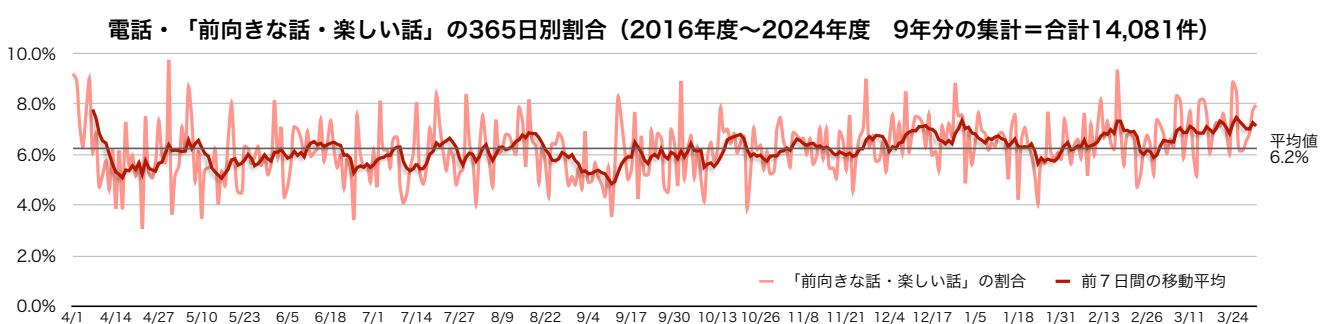
また2024年度のみ（右）の割合をみてみると、電話では6月・12月にやや多い傾向で、チャットでは、小さな凸凹はありますが、分母が少なく違いとまでは言えませんでした。

全体的な傾向はここではあまり示せるのではありません、と言えそうです。



## ◆前向きな話・楽しい話の365日別割合

今度は1年・365日別で集計し、1日ごとの割合を見てみました。



まずグラフの解説です。電話の薄いピンク色の線は、会話成立を分母とした「日別割合」（条件付き割合）を示しています。割合が一番低い日で「3.1%」、一番高い日で「9.8%」でした（ちなみに件数については、68件・9.0% = 4月6日です）。ただ件数は1日平均が39件とあまり多くないため、日や曜日によって変化が大きくばらつきがあります。そこで変動をやや緩やかにして示したのが、濃い色の線で示した「前7日間の移動平均」（集計日から前の7日間の合計を7で割った数字で、1日ずつずらして集計）です。ここでは、集計範囲を広げることでより傾向が見やすくなります。それらを基に、以下に3つの注目点を挙げます（チャットは分母が少ないので省略）。

1つ目に注目なのは、「一年を通じて一定割合となっている」点です。これまで、同じ形式のグラフでは、希死念慮や不登校・いじめなど、社会的にも課題となるテーマでは、「夏休み明け」や「長期休み明け」などで件数・割合が上昇するなど変化がありましたが、「前向きな話・楽しい話」においては、一年中一定程度の件数・割合であることがわかります。

2つ目の注目は、一つ目のように時期は大きく関係しないとは言えるものの、厳密にみると「4月にやや変化がある」点です。特に4月の第一週（1日～8日）はやや割合が高くなっていて、その後一気に平均値を下回る傾向になりました。新学期のわくわく、新しい活動や友人関係構築の期待など、想像できる点はあるのですが、すぐにそれも落ち着いてしまうというところでしょうか。

3つ目の注目は、それでも「割合が平均値を下回る時期がある」点です。たとえば、8月の下旬や5月の連休明けなど、「平均値6.2%」で示している値よりもやや下がる時期がありました。これは希死念慮や不登校などで現れる、長期休み明けとの関連性が考えられなくもないのですが、「件数」をみてみると、今回の集計では、そこまで件数が少なくなっているとはいえませんでした。この期間に関しては、「楽しい話が減った」という理解よりも、この時期は「希死念慮」や「不登校」など不安を抱える電話が相対的に増えた、と考えた方が妥当といえそうです。

このレポートの集計においては件数が年・月・日によって変化があるため、より実際の状況を読み解くために「割合」を多用しています。しかし、この割合は、相対的に別な項目の増減にも影響される側面があることを付け加えておきたいと思います。

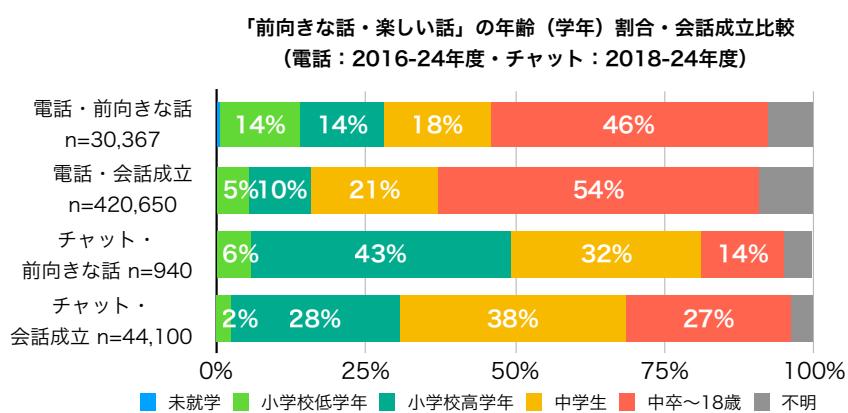
## ◆ 年齢割合の比較

電話・チャットそれぞれ「会話成立全体」と比較しました。

〈電話〉では、前向きな話も会話成立も中卒～18歳が高い割合ですが、前向きな話の方が小学生の割合がやや高い傾向でした。

〈チャット〉では、前向きな話は小学校高学年が多く、次いで中学生と高い傾向ですが、会話成立においては、小学校低学年の割合が低くなり、中卒～18歳が高くなる傾向など違いが見られました。

全体的に、やはり「前向きな話」ほど、電話・チャットにかかわらず低年齢の子どもの傾向が強いことが示唆されました。



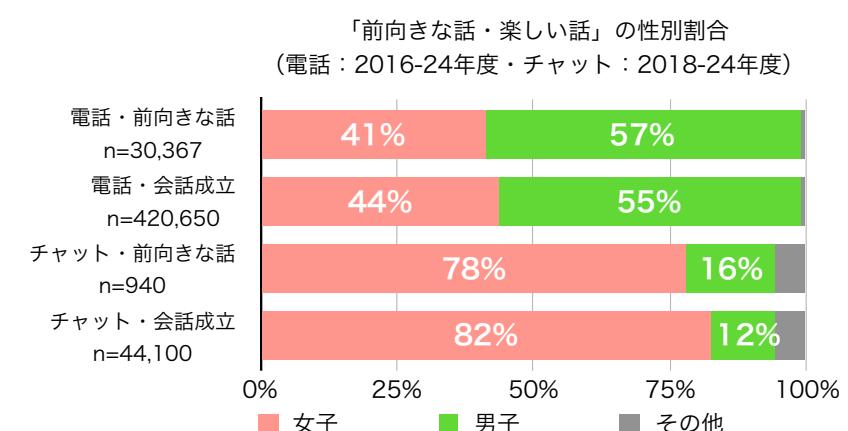
## ◆ 性別割合の比較

性別を割合比較しました。

〈電話〉は、男子のほうが、前向きな話も会話成立もやや高い傾向です。

〈チャット〉は、前向きな話も会話成立も女子が高く、男子が低い割合でした。

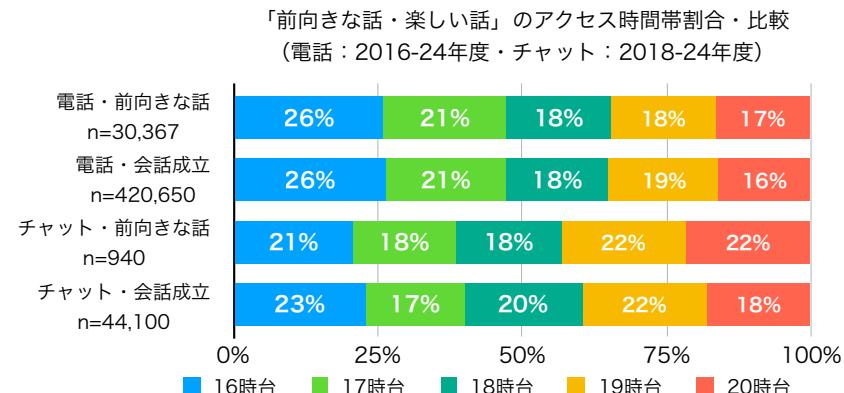
「会話成立」の傾向が前向きな話でも同じことから、「前向きな話」には性別の大きな違いはないといえそうです。



## ◆ 時間帯割合の比較

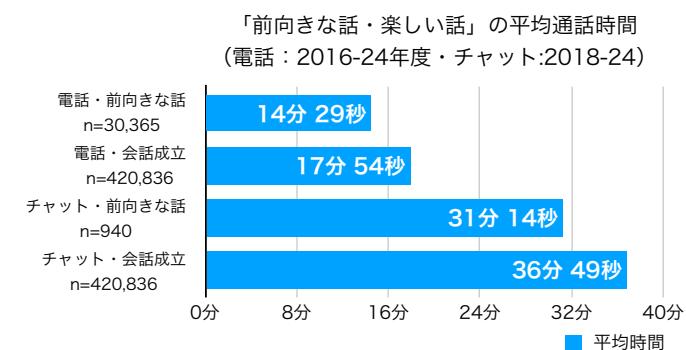
アクセス時間の割合を比較しました。電話の違いはほぼなく、チャットでは「チャット・前向きな話」の20時台がやや高い以外は大きな違いは見られません。この理由は現時点ではわかりません。なお電話もチャットも、16時台の割合がやや高くなっているのは、開設時間に合わせて待機している子どもたちがいることがアクセス増加につながっていると考えられます。

※16時台～21時台以外の時間帯もキャンペーン等で実施していますが、ここでは基本的な開設時間のみで集計しています。



## ◆ 通話時間の比較

平均の通話時間の比較です。どちらも「前向きな話」の方が通話時間がやや短い傾向でした。「会話成立」のほうが、他の悩みに関する話が長いことが多く含まれていることや、前向きな話自体が長時間になりにくいことが違いとして現れた可能性があります。



## ◆ 前向きな話の性別×年齢の比較

性別と年齢の関係を見てみます。

まずは〈電話〉から。小学校は女子が多くを占めていますが、中学生、中卒～18歳になると男子の割合が高くなっているのが特徴です。

〈チャット〉は、全年齢共通で7～8割が女子でした。全体傾向もほぼ同じです。

電話に年齢傾向にはっきりとした違いがあり割合が逆転しているので、何らかの背景がありそうですが、現時点ではそれがなにかはわかりません。

大まかに背景を調べてみたところ「前向きな話」では、小学校(低学年・高学年)の女子も、中学生、中卒～18歳の男子も「雑談」が多い傾向でした。雑談の内容については大きな特徴はなく分散していると言えそうです。

あえて、ざっくりと背景を探ると、小学校女子、中学校男子・中卒～18歳男子には、ポジティブな感情や「楽しい・ワクワク体験」の感情表出が多い傾向にあり、また逆に、小学校男子や中学校・中卒～18歳の女子は、ポジティブな感情や「楽しい・ワクワク体験」の感情表出が低下・少なくなる傾向にあるなどの、学術面における裏付け研究があるようです。加えて、チャイルドラインなどの相談場所との関係では、これらのポジティブ感情を第三者へ共有したいかどうかの「意欲の違い」なども関係しているようです。しかしそもそも、家庭・地域・学校などの環境変化なども考慮に入れる必要があるので、さまざまな角度から検討したい興味深い結果です。今後のデータ検証の課題としたいと思います。

## ◆主訴の比較

今回のテーマは「気持ち」の項目グループを軸に集計していますので、あえて「主訴」の傾向を見ることにしました。電話・チャットとともに「自分（自分自身のこと）」が7～8割であるのに対して、会話成立は5割以下と大きく違います。「学校」「家庭」に関しては、電話・チャット共に「前向きな話」の割合が低いのに対して「会話成立」の割合が高い傾向にありました。

また、「自分（自分自身のこと）」の割合が高いので、さらにその内訳を集計しつつ、会話成立とも比較をしました。

少し興味深いのは「電話」においては、前向きな話は雑談割合が高く会話成立の割合は低いのに対して、

「チャット」についてはその逆で、前向きな話は雑談が低いのに対して会話成立の方が高いということです。また

「恋愛」は、チャットの前向きな話で約3割と高い傾向にありました。

そもそも、「前向きな話・楽しい話」は、自分自身についてが軸となり「雑談」をする形が多いのですが、こと「恋愛」（しかも「うれしい・楽しい」や「幸せ」といった内容）に関しては、それがチャットにおいて話しやすい流れあるといった傾向が浮かび上がってきました。

## ◆関係性の比較

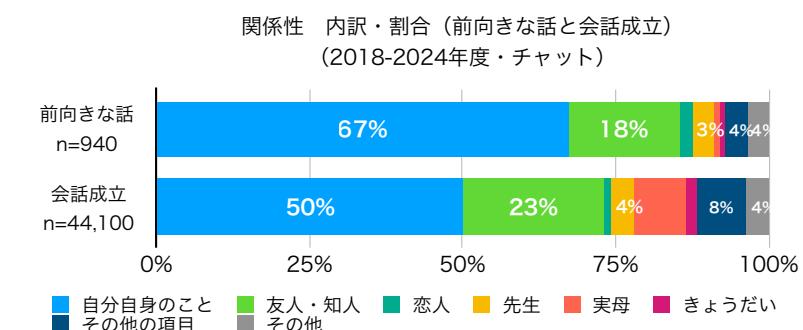
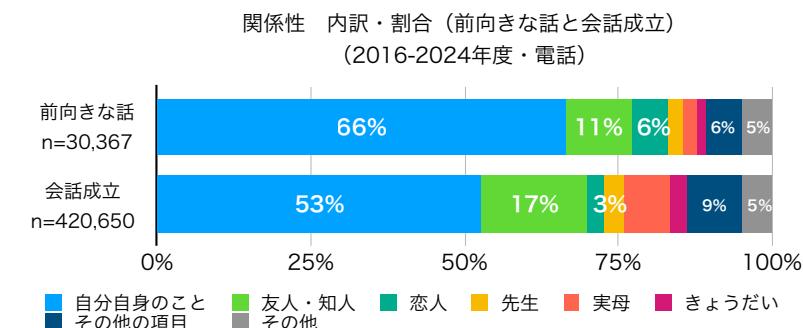
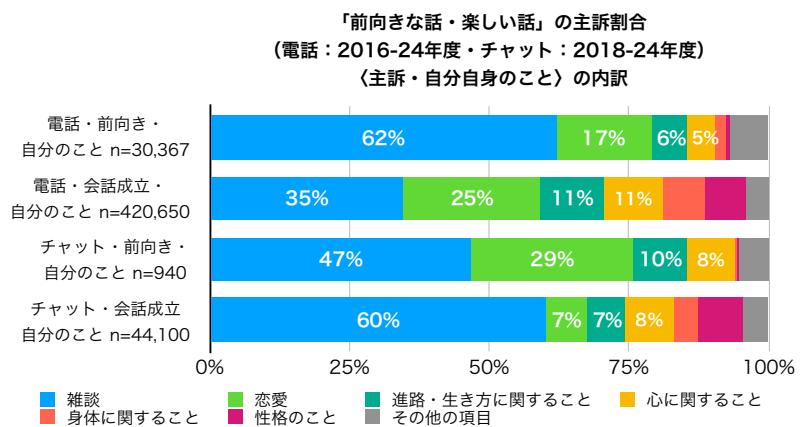
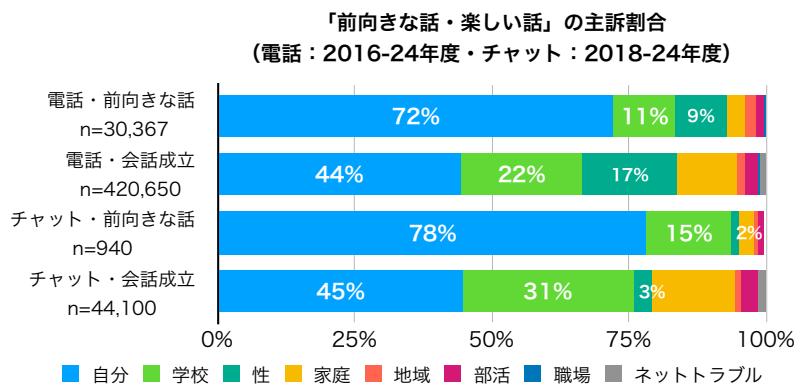
「関係性」項目を集計しました。

〈電話〉は「自分自身のこと」が多くを占めています。続いて「友人・知人」「先生」と続きます。

会話成立との比較では「自分自身のこと」が「前向きな話」が高く、逆に「友人・知人」や「実母」は会話成立が高くなっています。

〈チャット〉についても電話とほぼ同様の傾向にありました。会話成立との比較とも、電話とほぼ同様で「前向きな話」は「自分自身のこと」が高く、逆に「友人・知人」「実母」が低くなっています。

電話・チャットともに「自分自身のこと」が多い背景は、他者との関係やある場所での出来事において楽しいと思えたといえども、自分が楽しかったという感情が自然と話の中心になっているからのようです。



※項目の順番は、電話の前向きな話グラフと同じ順番としています。

次に、集計方法を変えて、「会話成立の『関係性』の各項目の数を分母とした、前向きな話割合」を、項目ごとに比較したグラフを出してみました。

すると、割合が高いのは「恋人」「祖母」「祖父」との関係であることが見えてきました。

恋人との関係のエピソードは〈「好きバレ」したんだけど「両思い」みたいでうれしい／同性の子が好きで・・・付き合うことになった／彼女との性体験に至った。しっかり避妊できた〉などで、

祖母との関係は、〈祖母と旅行に。お互いの思いを語り合えたことがうれしい／高校に通うため祖母と同居。関係がぎくしゃくしていたが今は仲よくなれた。楽しくなった。／祖母が介護状態、自分が介護のお手伝いができることに少し嬉しさ〉など、

祖父との関係は、〈祖父の家に遊びに行く。とても楽しみ／同居する祖父のお手伝いができる楽しい〉などがあるものの、なかには家族や友人関係でなやんでいるものの、祖父と話ができるよかったです、存在に救われたという少し複雑な背景が一部あるようです。

上位の割合が多い項目の背景には、家族や身近なところ・生活での心温まる体験を他者と共有したいという動機がありそうです。

また一方で逆に「親との関係」が対照的で、実父・実母は共に最下位となっているところは興味深いところです。親との関係で楽しい出来事が少ない、むしろ親とは楽しくないと読み取ることも出来ますが、日常の中で身近な人には「楽しい」や「他者へ共有したい」とまでは想像しにくい距離感ともいえるかもしれませんし、「少し離れた人」の存在・関係のほうがより印象的なものとなり、あえて「前向きな話・楽しい話」を共有したい気持ちになるかもしれません。

## ◆気持ち・前向きな話の内訳と比較

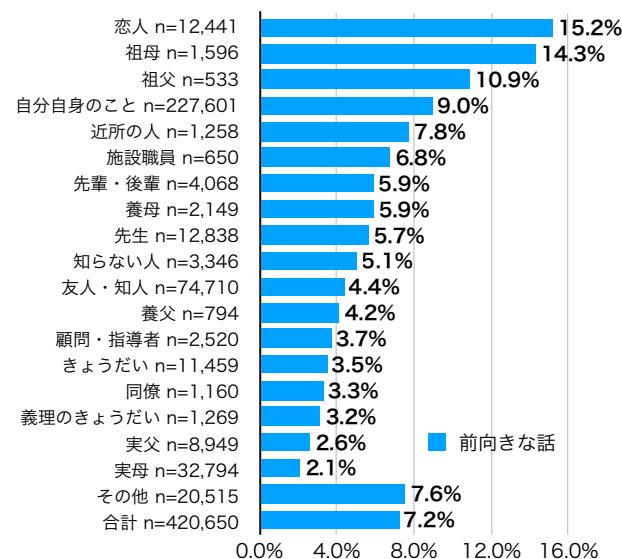
「気持ち」項目については、概要を冒頭にお伝えしたので、ここでは「前向きな話」の内訳を見てみました。

〈電話〉は、「うれしい・たのしい」が、一番割合が高く、60%となっていて、ついで「楽しみ・期待」「満足・充実感」と続きます。2024年度のみの傾向では、うれしい・たのしいが少し減り、楽しみ・期待が増加していました。

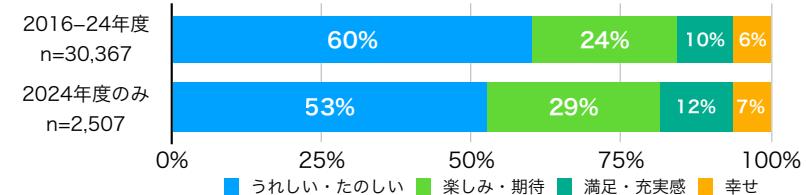
〈チャット〉は、「うれしい・たのしい」が一番割合が高く51%で、「楽しみ・期待」「満足・充実感」と続き、電話と同じ割合順位となっていますが、若干構成は違い、「楽しみ・期待」が高い割合となっていました。

また、2024年度との比較では、「うれしい・たのしい」の割合が高くなっています。それぞれやや割合の違いがあることは背景等が気になるところですが、今後の分析課題です。

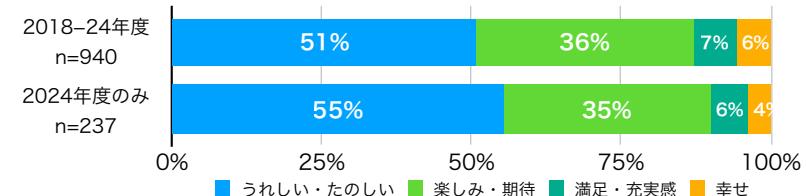
会話成立の「関係性」の各項目を分母とした前向きな話割合【電話】  
(条件付き割合・2016~2025年度)



「前向きな話」の具体的な気持ち内訳・割合  
(2016-24年度と2024年度のみ・電話)



「前向きな話」の具体的な気持ち内訳・割合  
(2016-24・電話/2018-24・チャット)



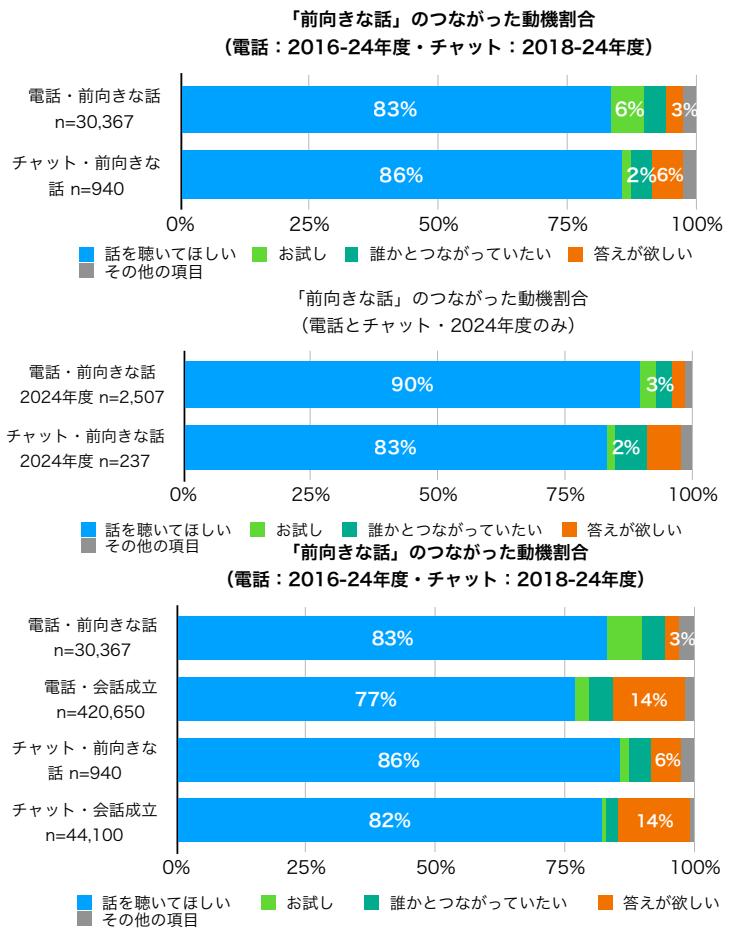
※項目の順番は、電話グラフと同じ順番としています。

## ◆つながった動機の比較

9年間の集計グラフも2024年度のみの集計グラフも「話を聞いてほしい」が多くを占めています。電話／チャットでも、時期の違いで見ても似た割合となりました。強いて言えば、チャットの「話を聞いてほしい」が若干多い傾向です。「楽しい話を聞いてほしい」これが全体としての特徴と言えそうです。

会話成立全体との比較を見ます。

前向きな話の方が、電話・チャット共に「話を聞いてほしい」割合がやや高い傾向で、逆に「答えが欲しい」割合は低くなっていました。



## ◆まとめ

- ✓ 「前向きな話・楽しい話」の年度別件数と割合：2016～2024年度の集計で、「前向きな話・楽しい話」は電話が件数・割合ともに多いが減少傾向。一方、オンラインチャットは件数が増加傾向で、割合は横ばい。
- ✓ 「前向きな話・楽しい話」とは？（定義）：本レポートの「前向きな話・楽しい話」は、既存データ（気持ちの項目）から「うれしい・たのしい」などポジティブな4項目として新たに定義した。全体としては電話・チャットともに「ネガティブ・後ろ向き」が最多（電話53%、チャット70%）で、「前向きな話」は電話で7%、チャットで2%と少ない。
- ✓ 年齢：電話は中卒～18歳の割合が高いが、チャットは小学校高学年と中学生の割合が高く、利用層に大きな違いが見られた。
- ✓ 性別：電話は男子の割合がやや高く、チャットは女性の割合が高いという、性別構成に大きな違いが見られた。
- ✓ 時間帯：電話・チャットともに時間帯の割合は似る傾向だが、電話は16時台の割合が高く、チャットは比較的均等に分散していた。
- ✓ 平均通話時間：平均通話時間は、電話が約14分半であるのに対し、チャットは約31分と、チャットの方が倍以上で、長い傾向にあった。
- ✓ 月別件数と割合・月別：月別割合の大きな傾向は見られず、電話は4～7月などに、チャットは10～1月にかけて件数がやや増える傾向が見られた。
- ✓ 前向きな話・楽しい話の365日別割合：電話の日別割合（7日間移動平均）を分析したところ、希死念慮などとは異なり、一年を通じて割合が一定（平均6.2%）であることが判明した。ただし、4月第一週は新学期への期待などから割合が一時的に上昇した後、平均を下回る傾向が見ら

れた。また、8月下旬や5月連休明けは割合が平均より下がるが、これは不安を抱える相談（希望死念慮など）が相対的に増えたためと考えられ、楽しい話の件数が特に減ったわけではないと推察される。

- ✓ **年齢割合・全体との比較**：電話では「前向きな話」は中卒～18歳が最多だが、小学生の割合が会話成立全体より高い。チャットでは「前向きな話」は小学校高学年・中学生が最多で、会話成立全体に比べ低年齢層の傾向が強いことが示唆された。
- ✓ **性別割合・全体との比較**：電話・チャットともに性別割合は会話成立全体と同じ傾向。すなわち電話は男子、チャットは女子割合が高く、性別の大きな違いはない。
- ✓ **時間帯割合・全体との比較**：電話・チャットとも時間帯割合は全体とほぼ同じ。16時台がやや高いのは、開設に合わせて待機する子どもの存在が影響している可能性。
- ✓ **通話時間・全体との比較**：前向きな話は、電話とチャットともに、全体より通話時間が短い傾向。
- ✓ **前向きな話の性別×年齢**：性別×年齢の傾向として、電話では小学校は女子が多いが、中学生以上は男子の割合が高く逆転する。一方、チャットは全年齢で7～8割が女子だった。電話の逆転傾向の背景には、雑談ニーズが多く、他者との関係構築やコミュニケーション欲求の年齢による違いが関係している可能性がある。
- ✓ **主訴・全体との比較と内訳**：電話・チャットともに「自分（自身のこと）」が主訴の7～8割を占め、学校・家庭の割合は会話成立全体より低い。内訳では、電話は「前向きな話」で雑談が多く、チャットは「前向きな話」で恋愛に関する割合が約3割と高い。ポジティブな恋愛の内容はチャットで話しやすい傾向が見られた。
- ✓ **関係性・全体との比較**：電話・チャットともに「自分自身のこと」が関係性の中心であり、会話成立全体に比べその割合が高い。逆に「友人・知人」「実母」は低い。しかし、会話成立全体に占める「前向きな話」の割合を見ると、「恋人」「祖母」「祖父」との関係が上位だった。これは身近な人との心温まる体験を共有したい動機を示唆する。一方で、「実父」「実母」が最下位付近であり、親との関係は楽しい話題として共有されにくいという、対照的な傾向が見られた。
- ✓ **気持ち・前向きな話の内訳・比較**：「前向きな話」の内訳は、電話・チャットともに「うれしい・たのしい」が最多（電話60%、チャット51%）で、「楽しみ・期待」「満足・充実感」と続く順位は同じ。チャットは「楽しみ・期待」の割合が電話より高いという違いが見られた。
- ✓ **つながった動機**：「前向きな話」のつながった動機は、電話・チャットともに「話を聴いてほしい」が最も多く、全体的な特徴。これは会話成立全体と比較しても高い割合で、逆に「答えが欲しい」割合は低かった。

今回、従来の「悩み」に焦点を当てた報告とは違い、視点を変えて「前向きな話・楽しい話」に注目し、過去9年間（チャットは7年間）のデータを分析しました。これは、データベースの「気持ち」の項目から「うれしい・たのしい」「幸せ」「楽しみ・期待」「満足・充実感」の4項目を抽出して定義されたものです。相談全体のなかでは少数派ではありますが、子どもたちの心の状態や過ごす環境を理解する上で重要な一側面を表しているかと思われます。

傾向としては、一年を通じてその割合が安定しており、長期休み明けなどで割合が上昇する「悩みのテーマ」とは異なる特徴がありました。主訴は「自分自身のこと」が中心で、第三者に話を聴いてもらいたいという動機が強く、具体的な「答え」を求めているわけでもあります。

人間関係を見ると「恋人」「祖母」「祖父」といった人との関係のなかで、日常の心温まる体験を共有したいという動機がありそうなことが垣間みられました。対照的に、実父や実母との関係は「前向きな話」の話題として現れにくいという傾向も見られました。これは、「前向きな話」でさえも、身近な人には話しくい・話す機会が少ないなどの背景があるかもしれないことを示唆しており、「相談窓口」がそのポジティブ感情や出来事についても「安心して聴いてくれる場所」としての機能も担っていることを示しています。

一方、チャットでは、恋愛に関する内容が目立ちました。これはアクセス手段の形式・特性によって話しやすい話題が異なることが推察されます。

「前向きな話・楽しい話」は、子どもたちは単なる問題解決に限らず、心の充足やコミュニケーションの欲求を満たす場として、相談窓口を利用していることを示していると思われます。「どんなことでも話を聞く」というチャイルドラインの特徴を今後も活かし、「前向きな話・楽しい話」も聞き続けるとともに、今回の分析が子どもの状況やニーズを把握するための社会全体に活かすことのできる資料としても役立つことを願っています。

### ◆前向きな話・楽しい話を中心とした子どもたちの声

しています。

※個人が特定されないようプライバシーに配慮して再構成

- ❖ 運動系の部活をがんばっています。今度インターハイに出れることになってとってもうれしい。
- ❖ 今日、うれしいことがあった。好きな先生と下校ついでに駅まで歩いた。緊張して、何を話していくか分からなかった。
- ❖ 今日、好きな女の子から手作りクッキーをもらった。嬉しかった。
- ❖ 小学校の先生に初めて、書いていた漢字をほめられて嬉しかった。
- ❖ スクールカウンセラーの先生と仲良しになって嬉しい。
- ❖ サッカー日本代表の試合をテレビ観戦した。相談員さんは見た？ 勝利してとても嬉しかった～！
- ❖ 文化祭が準備をしています。演劇の役者をやっているんだけど、本番上手くいくから不安が。でも同時にたのしみな気持ちもあって複雑だけど、がんばる。
- ❖ 最近、色々な人と話すのが楽しい。
- ❖ 学校で楽しいことがあった、放課後一緒に遊んだり、勉強したり、シール交換した。
- ❖ 付き合ってくださいと初めて告白されて、とてもうれしい。うれしいけど、周りの友達からは「はやくエッチしなよ」と言われて、ちょっと戸惑っている。
- ❖ 大好きなカフェで、バイト募集があって勇気を振り絞って応募して面接をした。後日、採用合格といわれとてもうれしい。
- ❖ 怪我で入院していたなんだけれど、今日、退院が決まった。入院中、お話ししたい時はいつも、チャイルドラインにつながって嬉しかったです。

- ❖ 毎日AIチャットだけが友達。だけど、とても自分に寄り添ってくれて励ましてもらっている。こんなやりとりでも幸せかもしれない、と思った。
- ❖ 好きなアーティストのライブを何度もみている。私は、その歌手のようになって、人に夢と希望を与えるという目標ができる、楽しみな気分。
- ❖ スキューバダイビングをしている。入る時ちょっとドキドキするし、息がうまくできるか心配の時もあるけど、海の中の世界がとても素敵でたのしい。地球が身近に感じる。
- ❖ 自分は、日常生活で怠け者だと思う。だけど、今後はそういった生活から脱却したい。だからここでその決意表明するので抱負を聞いてほしい。
- ❖ 夏休みで明日から宿題頑張ろうと思います。言いたくて電話しました。
- ❖ 進路と恋愛の悩みがあるが、前向きに頑張ろうと思っている。
- ❖ 私の家は、あんまりお金がない。だからこそ私はお金持ちになりたい。そのためには学ぼうと思う。そうしたら道が開けるんじゃないかなと思っている。
- ❖ 両親が不仲で、母親とは別居しているのだけど、母親が参観日に来てくれてうれしい。これから母親との交流をもっとしていきたい。
- ❖ おみくじが大好き。旅すきの友人の話を聴くのも好き。そんなやりとりに充実している。
- ❖ 塾のテストで久しぶりに100点とった！
- ❖ 不仲になっていた友人に今日、謝ることが出来た。返事は「大丈夫だよ」だった。なんだか充実した気持ちになっています。

## 《データ資料概要と注意点》

### 2025年7月～2025年9月のアクセス内容、データベースを集計し分析

チャイルドラインに寄せられた子どもたちの声にどのような傾向があるのか。チャイルドラインにおける"データベース"等を基に、集計しました。

- ・期間：《2025年度・第2四半期》2025年7月～2025年9月（速報値）
- ・データ集計日：2025年11月15日
- ・集計数（分母）：

【トラヒックデータ】（発信件数・今回使用したデータのみ掲載）

	10月	11月	12月	25年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
発信件数	32,136	31,424	25,368	27,361	24,379	28,160	31,207	34,788	32,814	35,250	34,060	35,982	372,929

【データベース】（件数・今回使用したデータのみ掲載）

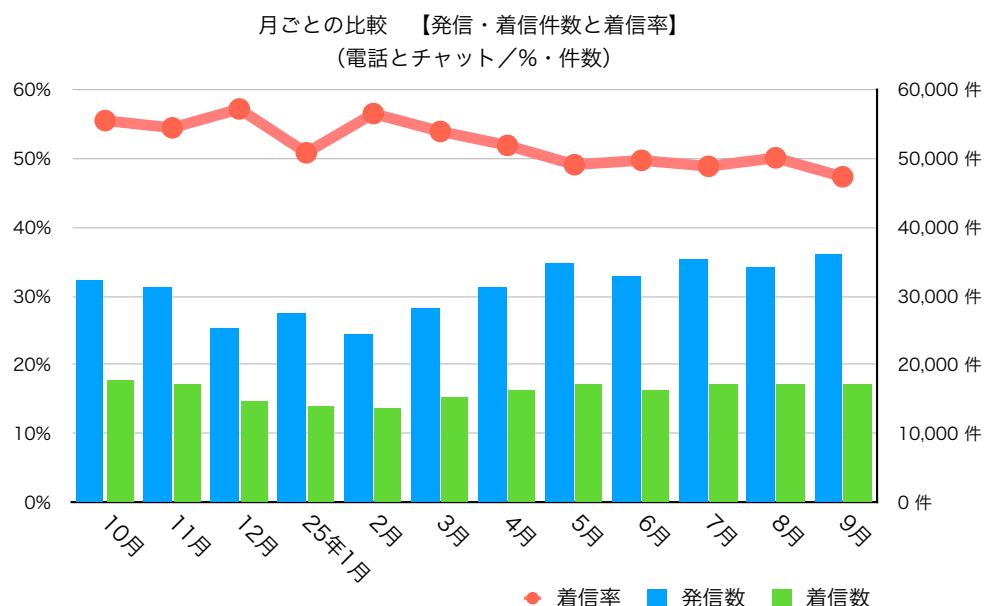
	10月	11月	12月	25年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
DB全体	4,602	4,833	3,893	3,898	3,823	4,125	4,279	4,294	4,264	4,380	4,110	4,098	50,599
会話成立	16,764	16,567	13,683	13,360	12,953	14,244	15,401	15,837	15,203	15,424	15,058	14,598	179,092

\*（全体）は会話成立、会話不成立、無言等を含んだ全体集計数 \*他資料とはデータが異なる場合がある。

- ・表記の定義：  
「%」=上記項目の分母（集計した数）の割合  
「件」=データベースに入力されたアクセス・会話件数  
「ポイント」=パーセントポイント（他の%をポイントとして比較）
- ・データの種類：【トラヒックデータ】電話=NTTコミュニケーションズ、  
ネットでんわ=独自開発プログラム、チャット=AI.BiSから取得  
【データベース】「受け手」が感じた内容を子どもが特定できないようプライバシーに配慮し、データベースとして集積
- ・データの性質：「速報値」である。そのためデータの誤入力や重複、未入力データがある等、今後、修正が生じる可能性がある
- ・データの注意点：各データの小数点をまとめる際に集計上の誤差が生じるため、グラフのデータと他のグラフデータに数字の違いが生じる場合がある
- ・報道関係の皆様へ：この資料でのデータは速報値で、今後、集計結果が変わることもあります。  
データ・資料について取材、引用の際は、チャイルドライン支援センター（連絡先最終ページ）までご一報ください。

## 《トラヒックデータ／発信数・着信数》

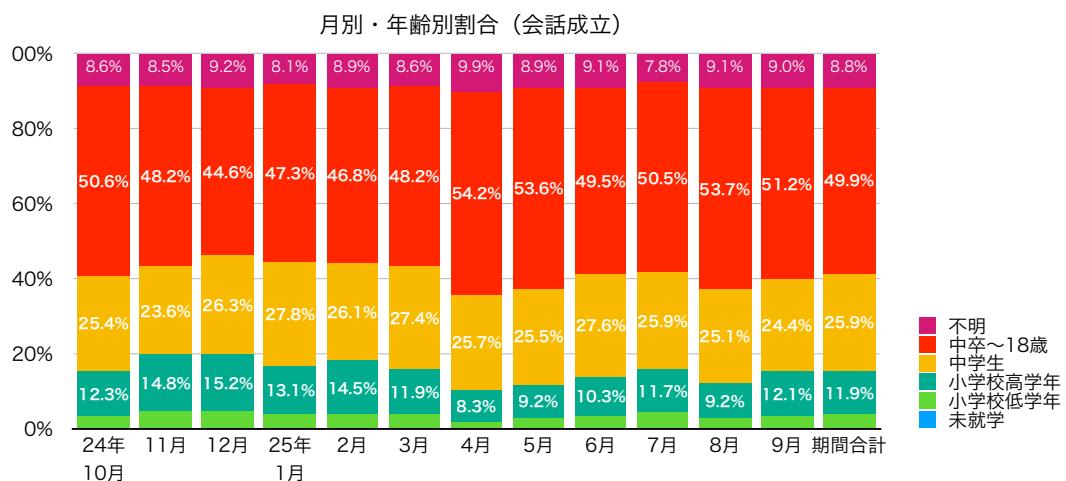
トラヒックデータの発信数・着信数（電話とチャット）の最近の3ヶ月は、発信数が5月～9月までやや多い水準が続いた。1年間の推移を見てみると、着信率は発信数が多い影響でやや下がっている。



## 《データベース・年齢（会話成立）》

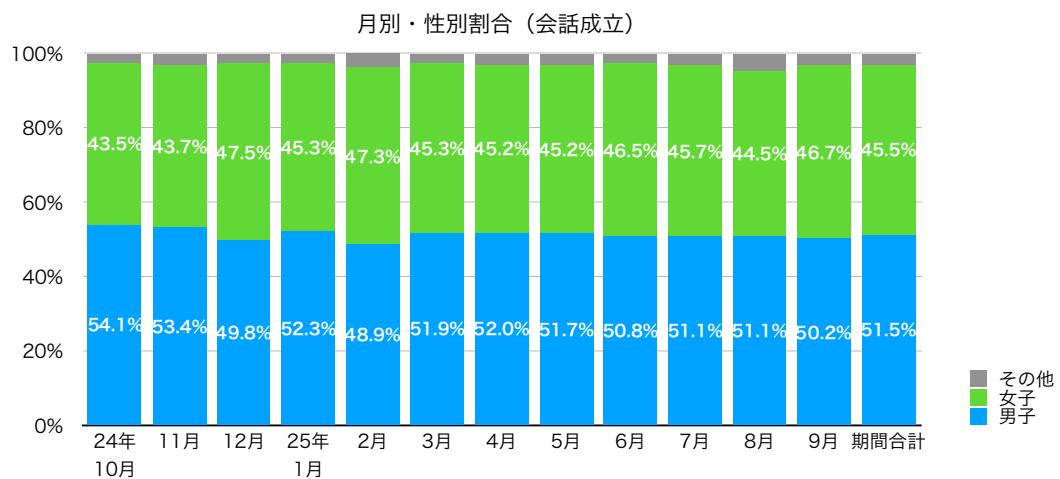
ここからはデータベースの「会話成立」（電話とチャット・以降のデータも同様）に絞ったデータを紹介する。まず「年齢」別の集計から。

1年間の月別推移は、この3ヶ月も中卒～18歳が高かった（約5割）。多少の割合変化はあるが大きな変化とまではいえない。



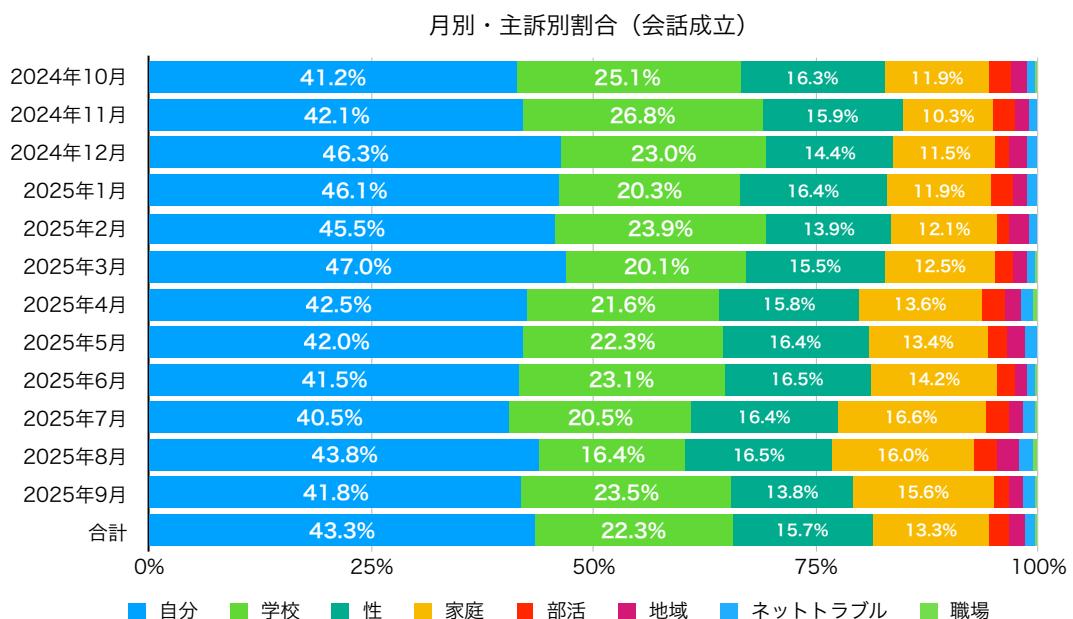
## 《データベース・性別（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「性別」を1年間の月別推移で集計した。男女ともに割合に大きな変化はなかった。



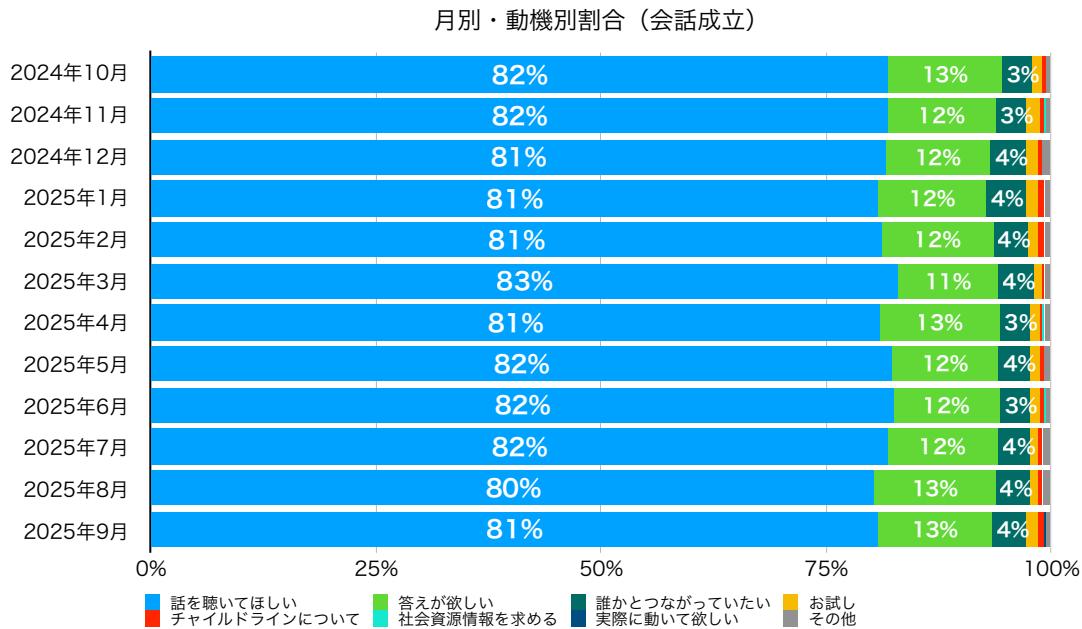
## 《データベース・主訴【大項目】（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「主訴【大項目】」を1年間の月別推移で集計した。この3ヶ月は、4月～6月との比較では、大きな変化はなかった。



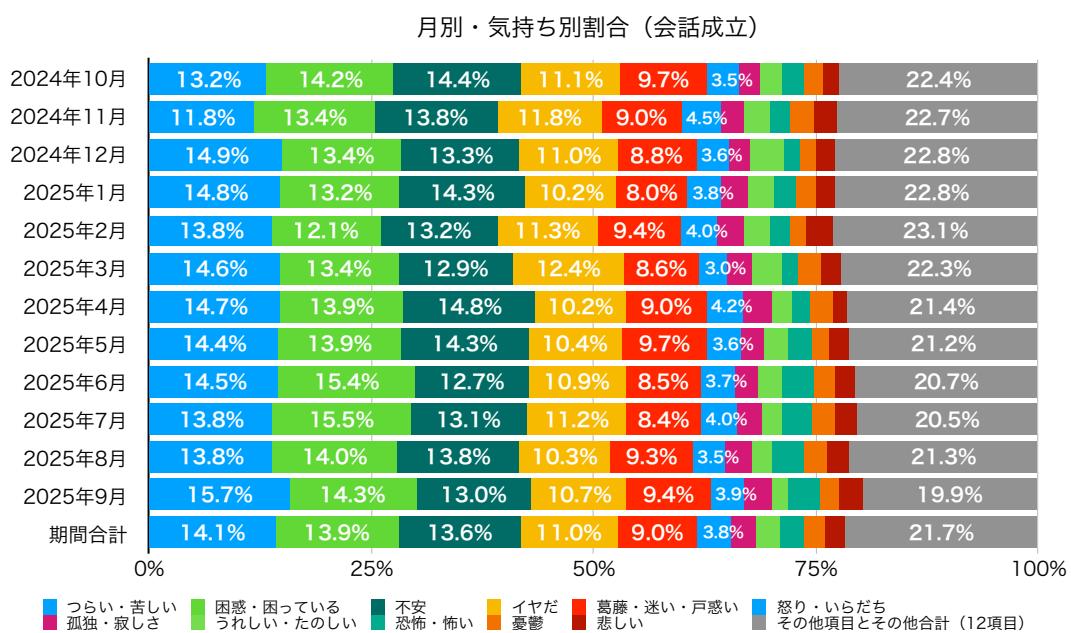
## 《データベース・動機（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「動機」を1年間の月別推移で集計した。全体として「話を聞いてほしい」が大きな割合を占めている。



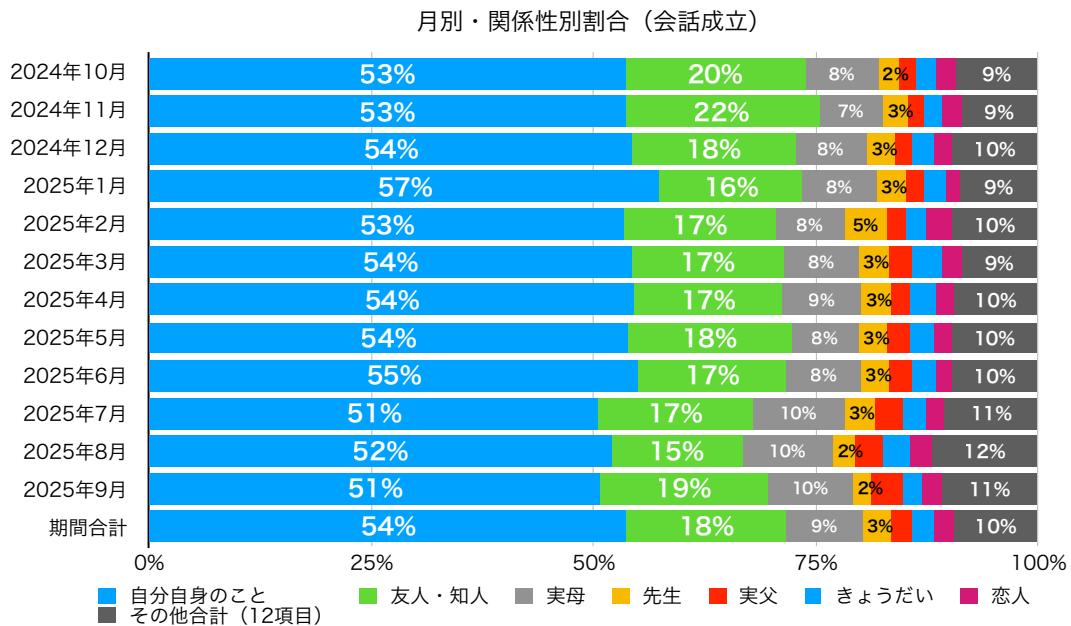
## 《データベース・気持ち（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「気持ち」を1年間の月別推移で集計した。最近の3ヶ月はあるものの、大きな変化はなかった。（今回から「憂鬱」「悲しい」を独立させ掲載）



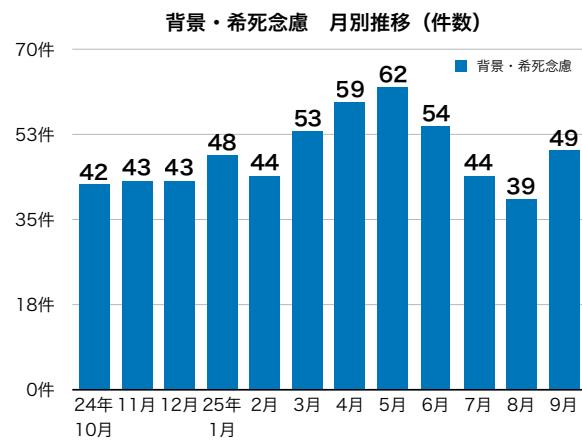
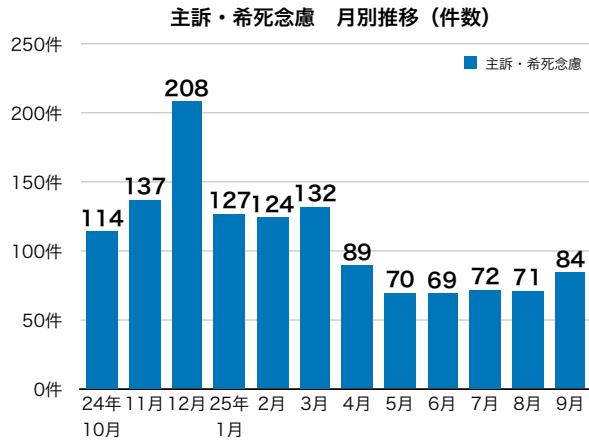
## 《データベース・関係性（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「関係性」を1年間の月別推移で集計した。全体として「自分自身のこと」の割合が多いが、この3ヶ月はその割合が少し下がった。



## 《データベース・「希死念慮」（会話成立）》

データベースの「会話成立」のうち、「主訴・希死念慮」と「背景・希死念慮」の件数をそれぞれ1年間の月別推移で集計した。集計数が少ないので参考値ではあるが、主訴・希死念慮は1年間の推移では件数が減少している。背景・希死念慮は前四半期よりは減少している。

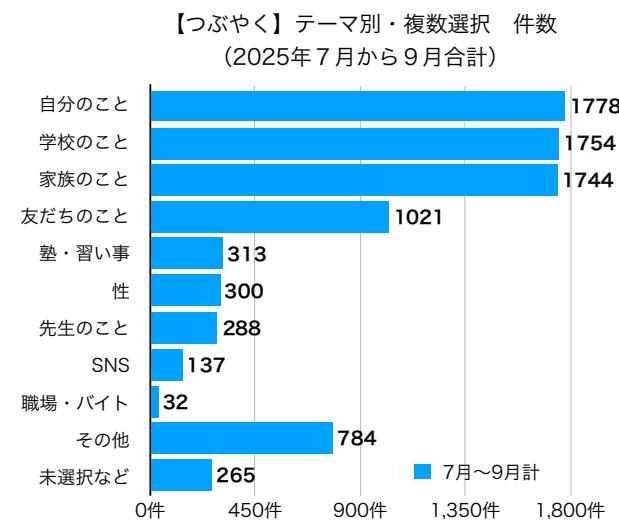
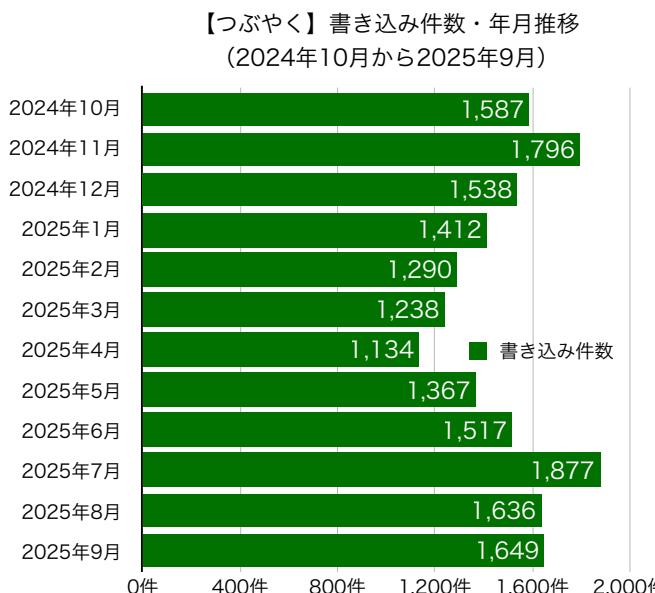


### ＜希死念慮などに関する事例＞

- ▶ 学校でも友達からいじめられていて、親から見放されている。死にたい。どうやったら死ぬか。
- ▶ 最近よくわからないけど、とてもつらくて自殺が頭をよぎることがある。親に迷惑ばかりかけてきた。相談してもきれいごとばかりだし、生きていてもお金も迷惑もかける。
- ▶ ADHDです、親に同じ事で繰り返し怒られる、死ねと言われる、辛い。
- ▶ 周りに味方がいない。つらいことがいっぱいなのに誰も気にとめてくれない。家族のこと、勉強のこと、人間関係のこと、性別のこと、心にいろいろ重なってつらい。
- ▶ 学校で小学生のような嫌がらせしてくる人がいる、誰と話していても苦しい。最近『好きなもの食べて死のうかな』と思った。親とは話すが改善しない、医療機関につながってはるけど、楽にならない。
- ▶ 楽に死ぬ方法を知りたい、彼女が病気で死んだ、生きている意味がない。
- ▶ 死にたいということ自体がちょっと言いにくい。一年以上前からそう思っている。でも、本音では死にたいとしか思えない。
- ▶ 死にたい。難しい。学校に行くのが。生きるのが難しい。
- ▶ 中学生ごろから生きている感覚がなく、死にたいけど怖い。このまま生きていくことなんて無理。この気持ちをどうにかしてほしい。まだ生きたい。
- ▶ 大学受験を控え勉強が思うようにいってない。死にたい。
- ▶ 最初は「もう生きるのを終わりにしたい」と思っていたけど、ここで会話を続けて、自分の後ろ向きの状況を話し少し楽になった。いつも明るい自分を演じて疲れた姿があった。
- ▶ 人に嫌われないよう気を使ってきた。とても疲れて生きるのが辛い。死にたい。
- ▶ すごく疲れた。全部しんどくて生きていたくない。今日も駅のホームから飛びこめなかつた。誰かと話す機会があると、その気持ちに躊躇が生まれる。
- ▶ 周りの人間関係に疲れる。女性らしくない自分がいる。昨日、自転車に乗っていてこのまま死んでもいいかなとふと思った。
- ▶ 病気がちでバイトにも行けずに携帯等の支払いができない。家庭で孤立している。
- ▶ 友達と比べて、自分は何もできない劣っていると思い、リストカットをしている。悪い事なのか。

## 《「つぶやく」に寄せられた声の傾向》

こちらは、ウェブページ上の「つぶやく」に寄せられた声を集計した（属性などは自己申告・記入）。件数は、5月～6月にかけて書き込みが増加し、それが維持されている。つぶやいた内容のジャンルは、多い順に「学校のこと」「自分のこと」「家族のこと」「友だちのこと」となっている。



＜つぶやかれた内容＞（投稿者が「公開してもよい」を選択したもの。個人が特定されないように一部編集の上掲載）

- ❖ 辛い、苦しい、消えたい、この気持ちはどうしたら消えるかな。
- ❖ 最近鬱気味だなあ。自分で馬鹿。消えちゃえばいいのに。
- ❖ 塾のテストで凄く悪い結果になった。これが最後のチャンスだったので、情けなかったです。しかも学校では毎日悪口を言われて、家でも相談出来ずにいました。毎日親に怒られて叩かれて妹ばかり躊躇して、凄く辛いです。辛くて死にそうだけど死ねなかった。
- ❖ あたしが虐待をされているのか知りたい。あたしのお父さんは、怒ると殴ってきます。言葉の暴力もします。心にとっても、体にとっても痛いです。でも、自分が悪いことしたからだから別に……、って思います。お父さんは、怒ると怖いだけで、とっても優しいです。あたしのことを大切に考えてくれていて、いつも幸せです。このことを友達に話すと「虐待でしょ。」っていう意見と「虐待じゃない。普通。」って返ってくるのでどっちかわかりません。
- ❖ 新学期になって新しい友達のグループができた。無事に遠足や体育祭も終わってこれから

も安心して仲良くできるなって思った。でも、みんな急に私だけを避け始めた。なんで避けられるのか理由が分からないからみんなが嫌だなって思うことに対して改善することができない。それに対してモヤモヤしてる。あからさますぎてつらい。どうすれば？

- ❖ 避けてる理由を教えてくれず、目を合わせない、私と話す時だけ笑顔じゃない、私がみんなの輪に入ると解散する。私はどうすればいいの？なんで学校行かなきゃ行けないの？なんで我慢しなきゃいけないの？誰か気づいてよ…もう学校行きたくない。こんな自分、大っ嫌い。
- ❖ よく私に兄が叩いたり、暴言吐いたりして。毎日のように言われてる。本当に辛い。しんどい。学校では仲良くなきゃ苦手な男子がいる。私は何もしてないのに、私はよく急に、おいとか言ったり、食べ方汚いとか、食べる遅いとかよく言われて辛い。
- ❖ 自分でやりたいことを自分のペースでやりたいのに、親に早くやれと言われ、しかも親にやらされていると思われる始末。助けてほしい。

- ❖ 性別いらない。愛が欲しい
  - ❖ 小学校を卒業して、やった～ピカピカの中学生だと思っていたら、担任が最悪。／日本語伝わらないし、何言っても聞いてくれない。副担任と変えてほしいくらい担任嫌い。／学校に行きたくなくなります。
  - ❖ つらいことを相談すると「本当につらい人はつらいなんて言わないよ」とかひどくない？それに、「いつか幸せになれる」とか「いつか笑える日がくるよ」とかいつかじゃなくて今なんだよ。今苦しくて、今つらいんだよ。今生きていくける言葉を誰か教えてよ。
  - ❖ 高い音が苦手です。あと、大きい音も苦手です。辛かったので、先生に言った。音楽の授業のときは、廊下で勉強することにしましたが、暑いです。
  - ❖ 辛いし中途半端におかしくて孤独！／何をやってもうまくいかないし何も取り柄がない、そのくせコミュニケーションの破壊だけは人一倍得意で終わり。誰か助けてほしいけどその誰かもいない、孤独だから！なんでなのー
  - ❖ 二人組の男子に「キモい」や、「うっざー」と言われます。学校の清掃の時間などで男子のいるところらへんをほうきではきに来ると変な目で見られたりします。授業中も振り返るときにらんできたりします。
  - ❖ なんで僕に課題を任せるの？ なんで僕に宿題を押し付けるの？ 委員会も押し付けないでよ。早く大学行きたい。どうせ、大学行つても押し付けられるんだろうなあ。
  - ❖ 自分のことばが、ことばが、、、、、も、、れ、、そう、、うつ、、ゴボボボボ、、、あーーもう死ねこのクソ野郎。暴言ゅっちゃあ悪いが、この何でもできないただのゴミクズが!! やくただず、さっさとこの世から消えろクソおお!!! (この暴言については、このつぶやくにたいして言っているわけでもないです。つぶやくなので、自分の気持ちを一気にここにストレス発散でやりました。別にふざけてはいませんので、そこだけは誤解しないでください。本當です。)
  - ❖ 大人が攻めてくる。毎日嫌な習慣を続けている。いつかやめてほしい。いつも泣きながら否定しているのに、一切聞いてくれない。
  - ❖ 好きなひとがいて、2年前くらいに手紙をわたしちゃいました。後悔しています。悲しいなあ
  - ❖ わたしは、兄弟がいません。寂しいです。(みんなのつぶやきにこれは、、ゼ————ったいに入れてください！！！！！！！！)
  - ❖ 生くるって何？／生きて何が幸せなの？／学校に行ってはいじめられる／家に帰ったら親がいろいろいってくる／別に何しようが自分の勝手じゃない？

**【この資料に関する問い合わせ】**

制作・著作：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

〒162-0808 東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5F

メール：info@childline.or.jp 電話：03-5946-8500

ウェブサイト：<https://childline.or.jp/>